

「天下富舞」2個80万円

バローが購入

「大将」「武士」の3等級に分けられ、最高等級は糖度25度を超える。

あっぱれ最高値更新

県が開発した高級柿「天下富舞」の初取引が29日、愛知県豊山町の名古屋中央卸売市場北部市場であり、最高等級「天下人」が過去最高額となる2個80万円(税抜き)の高値で取引された。出荷は5年目で、これまでの最高値は昨年の初競りで付けた2個70万円(同)だった。

今年の天下富舞は糖度20度以上と非常に甘く、歯触りの良いサクサクとした食感が特徴。「天下人」



購入したのは多治見市のバローホールディングス(HD)。今年は新型コロナウイルス対策で、競りではなく相対での取引となり、青果仲卸業「丸進青果」(豊山町)を通して買った。バローHDの田代正美会長兼社長は「コロナで大変な中、同じ県内の企業として岐阜の農産物を盛り上げたい」と話した。

同社は天下人を含む天下富舞を計120個購入し、30日に新規開店する愛知県岡崎市の「バロー岡崎店」で販売する。天下人の販売価格は2個86万4千円(税込み)。

(織部俊太郎)

2個80万円で取引された天下富舞。柿を手に笑顔を見せる田代正美会長兼社長。29日午前、多治見市大針町、バローホールディングス本部